

日本ラテンアメリカ学会第32回定期大会のご案内

[ウェブ版 2011/05/26]

会員各位

日本ラテンアメリカ学会第32回定期大会実行委員会

下記のとおり、日本ラテンアメリカ学会第32回定期大会を、上智大学において開催いたします。会員の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

記

期日：2011年6月4日（土）～5日（日）

会場：上智大学 四谷キャンパス（〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1）

会場への交通：JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ッ谷駅 麴町口・赤坂口から徒歩5分

＊駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

（アクセスガイド：http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya）

大会事務局：上智大学外国語学部 岸川毅研究室 t-kishik@sophia.ac.jp

TEL (03)3238-3566 FAX (03)3238-3592

以下の点にご注意ください。

- ・懇親会（6月4日）の費用は、5,000円です。参加される方は、当日受付でお支払いください。
- ・昼食は、大学内および大学周辺のレストラン・売店をご利用ください。同封のレストラン・売店マップをご活用ください。
- ・宿泊の手配は行いませんが、以下に大学周辺（徒歩圏）のホテルリストを付します（料金は目安です。旅行代理店を通すと割引がある場合もあります）。

ホテル名	料金（シングル1泊）	アクセス/URL
東急ステイ四谷 03-3354-0109	8,200～	四ッ谷駅3分(新宿通り) http://www.tokyustay.co.jp/hotel/YOT/
三井ガーデンホテル四谷 03-3358-1131	8,900～	四ッ谷駅3分(新宿通り) http://www.gardenhotels.co.jp/yotsuya/
ホテル・ニューショーヘイ 0120-962-216	6,300～	四ッ谷駅3分(しんみち通り) http://www.shoheikan.co.jp/
栄進館 03-3353-0821	5,500～	四ッ谷駅5分 (東京都新宿区坂町5-1)
東京グリーンパレス 03-5210-4600	8,000～	麴町駅1分 http://www.tokyogp.com/
都市センターホテル 03-3265-8211	8,500～	赤坂見附駅8分・麴町駅4分 http://www.toshicenter.co.jp/
JALシティ四谷 03-5360-2580	8,000～	四谷三丁目駅1分 http://www.yotsuya-tokyo.jalcity.co.jp/

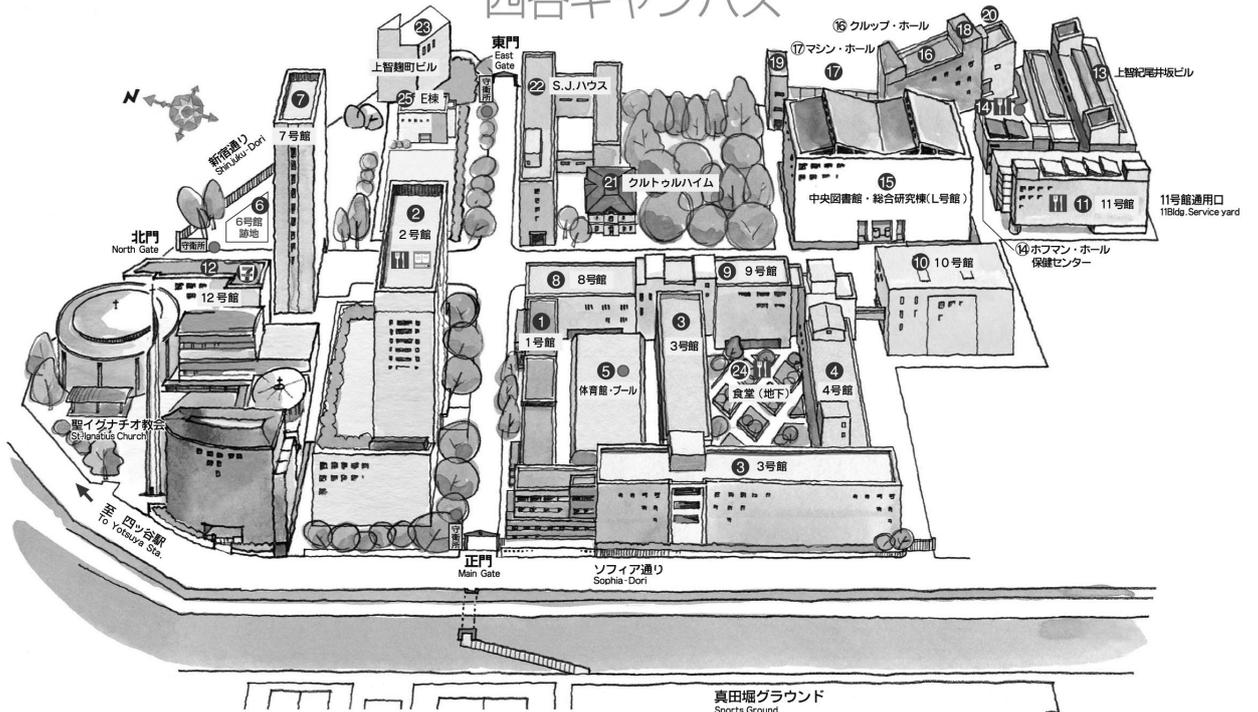
〈アクセスガイド〉



〈キャンパスマップ〉



Yotsuya Campus
四谷キャンパス



日本ラテンアメリカ学会 第32回定期大会

会場：上智大学

期日：2011年6月4日(土)、5日(日)

6月4日(土)

9:00～	受付	[4号館1階通路]
10:00～12:00	パネル A (食とペルー文化)	[4-183]
	パネル B (米国における中米系住民)	[4-184]
	パネル C (21世紀の文化)	[10-B108A]
	分科会 1 (歴史)	[4-185]
	分科会 2 (政治)	[9-252]
12:00～14:00	分科会 3 (アイデンティティと表象)	[9-256]
	昼食	
	理事会	[2号館会議室]
	上映会(1)	[10-B108A]
14:00～16:00	パネル D (民衆の可視化と抵抗)	[4-183]
	パネル E (文書管理実践の史的展開)	[9-252]
	パネル F (岐路に立つキューバ)	[9-256]
	分科会 4 (芸術、文学)	[4-184]
	分科会 5 (現代の先住民社会)	[4-18 5]
	上映会(2)	[10-B108A]
16:15～17:15	記念講演	[4-195]
	演題 “Cambio y continuidad cultural como objeto y método de estudio en documentos novohispanos”	
	講演者 Dr. Michel R.Oudijk (メキシコ国立自治大学)	
17:30～18:30	総会	[4-195]
18:40～20:30	懇親会	[2号館5F カフェテリア]

6月5日(日)

9:30～	受付	[4号館1階通路]
10:00～12:00	パネル G (トウモロコシ需給の変容)	[4-183]
	パネル H (アンデス地域の政治・社会運動)	[9-256]
	分科会 6 (ジェンダー)	[4-184]
	分科会 7 (移民)	[4-185]
	分科会 8 (生産と共同体)	[9-252]
	上映会(3)	[10-B108A]
12:00～13:30	昼食	
	上映会(4)	[10-B108A]
13:30～16:30	シンポジウム	[4-195]

“La sociedad indígena en el México colonial: formas de resistencia y adaptación”
(植民地時代メキシコの先住民社会：抵抗と順応のかたち)

日本ラテンアメリカ学会 第32回定期大会プログラム

6月4日（土曜日）

- 9:00～ 受付 [4号館1階通路]
10:00～12:00 研究報告 パネルA、パネルB、パネルC、分科会1、分科会2、分科会3
12:00～14:00 昼食、理事会、上映会(1)
14:00～16:00 研究報告 パネルD、パネルE、パネルF、分科会4、分科会5、上映会(2)
16:15～17:15 記念講演 [4-195]
17:30～18:30 総会 [4-195]
18:45～20:45 懇親会 [2号館5F カフェテリア]

4日（土）午前の研究報告（10:00～12:00）

● パネル A 食とペルー文化 — 学際的研究への試み — 【4-183】

コーディネーター：佐々木直美（法政大学） / コーディネーター・司会：渡辺暁（東京大学等非常勤講師）

報告者：佐々木直美（法政大学）

芝田幸一郎（法政大学等非常勤講師）

杉下由紀子（法政大学等非常勤講師）

大貫良史（東京大学大学院生）

鳥塚あゆち（東海大学大学院生）

● パネル B 米国西海岸地域における中米系住民のエスノスケープと政治的アイデンティティ 【4-184】

コーディネーター：中川智彦（中京学院大学）

司会：田中高（中部大学）

報告者：桜井三枝子（大阪経済大学）

中川智彦（中京学院大学）

中川正紀（フェリス学院大学）

コメンテーター：田中高（中部大学）

● パネル C ラテンアメリカの新世紀 — 21世紀に新しい文化が誕生したか — 【10-B108A】

コーディネーター：マウロ・ネーヴェス（上智大学）

司会：尾尻希和（東京女子大学）

報告者：マウロ・ネーヴェス（上智大学）

渡会環（愛知県立大学）

ニナ・ハセガワ（上智大学）

吉川恵美子（上智大学）

*引き続き、パネルに関連するラテンアメリカ映画の上映会（コーディネーター：マウロ・ネーヴェス）を、4（土）、5（日）両日にわたり開催します。

■ 分 科 会 1 科 会 歴 史 【4-185】

司会：山崎眞次（早稲田大学）

川上英（東京大学大学院生）「ユカタン「カスタ戦争」における「人種」

井関睦美（慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員）「古代メキシコ・メシーカ王朝の婚姻制度の変容」

武田和久（国立民族学博物館）「住民名簿（パドロン）にみるパルシアリダの持続と変容（1657-1801）—スペイン統治期ラブラタ地域のイエズス会布教区の事例—」

■ 分 科 会 2 科 会 政 治 【 9-252 】

司会：子安昭子（上智大学）

浦部浩之（獨協大学）「2010年ハイチ地震と混迷するハイチ政治—被災者支援事業モニタリング活動への参加をふまえて—」

舩方周一郎（上智大学大学院生）「ブラジル・サンパウロ州気候変動法の形成—国を越える自治体ガバナンス—」

住田育法（京都外国語大学）「ブラジル労働者党政権の展開について—政党の動向と政治家のカリスマ性の考察—」

■ 分 科 会 3 ア イ デ ン テ イ テ イ と 表 象 【 9-256 】

司会：西村秀人（名古屋大学）

佐々木祐（京都大学）「「二つのニカラグア」観の歴史的再検討」

森口舞（神戸大学大学院生）「キューバ革命ナショナリズムの新たな考察」

田沼幸子（大阪大学グローバル COE 特別研究員）「Cuba Sentimental—国内外のキューバ人の情動に関する人類学的映像と考察—」

Betsy Forero Montoya（筑波大学大学院生）「¿Qué pensarán de nosotros en Japón?: La influencia de los medios y el contacto directo en las percepciones de América Latina」

4日（土曜日）午後の研究報告（14:00～16:00）

● パネル D グローバル化と国民統合が生む社会的排除—民衆の可視化と抵抗— 【 4-183 】

コーディネーター・司会：幡谷則子（上智大学）

報告者：新木秀和（神奈川大学）

千代勇一（上智大学イベロアメリカ研究所準所員）

斉藤亜子（上智大学イベロアメリカ研究所準所員）

細谷広美（成蹊大学）

● パネル E 近代ラテンアメリカにおける文書管理実践の史的展開

—ペルー・ボリビアにおける公証人制度の移植と変容のプロセスを中心に—

【 9-252 】

コーディネーター・司会：吉江貴文（広島市立大学）

報告者：溝田のぞみ（同志社大学）

齋藤晃（国立民族学博物館）

中村雄祐（東京大学）

クララ・ロペス・ベルトラン（ボリビアカトリック大学）

● パネル F 岐路に立つキューバ 【 9-256 】

コーディネーター：山岡加奈子（アジア経済研究所）

司会：宇佐見耕一（アジア経済研究所）

報告者：小池康弘（愛知県立大学）

パーベル・ビダル＝アレハンドロ（ハバナ大学、アジア経済研究所客員研究員）

山岡加奈子（アジア経済研究所）

コメンテーター：狐崎知己（専修大学）

■ 分 科 会 4 芸 術 、 文 学 【 4-184 】

司会：ニナ・ハセガワ（上智大学）

中島さやか（明治学院大学非常勤講師）「文化創造・制度化の試み—軍政時代のチリ 芸術分野を中心に—」

南映子（相模女子大学非常勤講師）「ハビエル・ビジャウルティア『反射像』と1920年代メキシコの前衛芸術運動」

仁平ふくみ（東京大学大学院生）「フアン・ルルフォの短編 “El hombre” にみる身体感覚」

■ 分 科 会 5 現 代 の 先 住 民 社 会 【 4-185 】

司会：受田宏之（東京外国語大学）

禪野美帆（関西学院大学）「高級住宅地となったメキシコ市内旧先住民村落の社会組織」

小林致広（京都大学）「メキシコ先住民運動の再接合の可能性」

池田光穂（大阪大学）「地方分権における先住民コミュニティの自治—グアテマラ西部高地における事例の考察—」

渡辺暁（東京大学等非常勤講師）「民主化「10年後」のメキシコ地方政治—先住民村落における選挙と自治—」

■ 記念講演（16:15～17:15）

Cambio y continuidad cultural

【 4-195 】

como objeto y método de estudio en documentos indígenas novohispanos

Dr. Michel R.Oudijk（メキシコ国立自治大学）

*講演はスペイン語で行われます（日本語要旨を配布）。

6月5日（日曜日）

9:30～ 受付 [4号館1階通路]

10:00～12:00 研究報告 パネルG、パネルH、分科会6、分科会7、分科会8、上映会(3)

12:00～13:30 昼食、上映会(4)

13:30～16:30 シンポジウム [4-195]

5日（日曜日）午前の研究報告（10:00～12:00）

● パネル G ラテンアメリカにおけるトウモロコシ需給の変容 【 4-183 】

コーディネーター・司会：清水達也（アジア経済研究所）

報告者：谷洋之（上智大学）

清水純一（農林水産政策研究所）

清水達也（アジア経済研究所）

コメンテーター：小池洋一（立命館大学）

● パネル H アンデス地域における政治・社会運動の出現と変容 【 9-256 】

コーディネーター・司会：ロメロ・イサミ（早稲田大学）

報告者：牧田裕美（東京大学大学院生）

星野加代（東京大学大学院生）

磯田沙織（筑波大学大学院生）

コメンテーター：ロメロ・イサミ（早稲田大学）

■ 分 科 会 6 ジ ェ ン ダ ー
【 4-184 】

司会：藤掛洋子（東京家政大学）

上村淳志（一橋大学大学院生）「アルブール（albure）論再考—男性同性愛者の視点から—」

高橋慶介（一橋大学大学院生）「浮気された男」とシニカルな自己—ブラジル北東部バイア州ヘコンカヴォ地域を事例に—」

二宮健一（神戸大学大学院生）「ジャマイカの男性性研究と男性運動—黒人男性の「周縁性」をめぐる議論を中心として—」

■ 分 科 会 7 移 民
【 4-185 】

司会：牛田千鶴（南山大学）

水谷裕佳（北海道大学博士研究員）「ラテンアメリカ系移民、ラテンアメリカ先住民系移民、米国先住民の関係性—祭りにおける露天商の事例を中心として—」

中村・五島パトリア（名古屋大学大学院生）「移民コミュニティ内の社会的関係と家族機能の強化—在日ペルー人家族の事例より—」

Francis Peddie（ヨーク大学大学院生）「Young, well educated and adaptable people: Exiliados chilenos en Canadá, 1973-1978」

■ 分 科 会 8 生 産 と 共 同 体
【 9-252 】

司会：狐崎知己（専修大学）

大平秀一（東海大学）「民芸品原材料の獲得・流通をめぐる社会的動態—アンデスのムユ貝の事例—」

鈴木紀（国立民族学博物館）「フェアトレードの社会的インパクト—ベリーズ国トレド州のカカオ生産者の事例から—」

大橋麻里子（東京大学大学院生）「森林を資源化する外部者とシピボ社会—ペルー中央アマゾンのドス・デ・マジヨ村を事例として—」

石丸香苗（京都大学アジアアフリカ地域研究研究科研究員）「ブラジリアマゾンの土地なし農民（インバゾン）の農林産物収入と生活形態」

5日（日曜日）午後のシンポジウム（13:30-16:30）

La sociedad indígena en el México colonial: formas de resistencia y adaptación

植民地時代メキシコの先住民社会：抵抗と順応のかたち

【 4-195 】

司会：大越翼（上智大学）

パネリスト：横山和加子（慶応義塾大学）

井上幸孝（専修大学）

小原正（昭和女子大学非常勤講師）

安村直己（青山学院大学）

コメンテーター：Michel R.Oudijk（メキシコ国立自治大学）

*シンポジウムはスペイン語で行われます（日本語要旨を配布）。